第56回クイズ（どこにありますか）ふるってご応募ください

町の施設です

海田町のどこにありますか？

ヒント９ページ

応募方法

○官製はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局へお送りください。余白に、議会へのお便り、要望、意見、イラストなど書いていただければ大歓迎です。

○正解者の中から抽選により、五人の方に図書カードを送ります。

○締め切りは五月十九日（消印有効）です。

○あて先　〒736―8601　海田町上市一四―一八　海田町議会事務局

前回の正解は「日の出町」でした。

前回の施設は、「海田町福祉センター」でした。

海田町福祉センターは、平成十七年四月一日、高齢者や障害者の方々などの活動拠点として、また、住民の皆さまの福祉向上を図る施設としてオープンしました。平成十八年四月一日からは、社会福祉法人海田町社会福祉協議会が指定管理者として管理・運営を行っています。

前回は、応募総数三十八通（正解三十八通）でした。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

議員研修会に参加

猪瀬直樹さんによる講演です

去る２月２２日、町議会議員研修会に参加しました。

研修会では、猪瀬直樹さんによる「２１世紀の日本～構造改革とは何か～」と題した講義を受けました。また、広報コンサルタントの深沢徹さんによる「広報紙クリニック」を受け、ありのままの議事公開・住民とともに歩む広報づくり、わかりやすい記事と見出し、紙面づくりの技術などについて学びました。他町議会の具体的な広報づくりの例にも触れ、非常に参考になる研修でした。

今回の研修を活かし、かいた議会だよりも構造改革を図り、町民の皆さまにとって読みやすい紙面づくりに努めていきたいと考えています。

斎木議員ご逝去

平成１８年２月２４日、斎木貞暁議員がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りします。

編集後記

新緑のすがすがしい季節を迎え、海に山にと町内の行事も盛んになりつつあります。皆さんのところではいかがでしょうか。

さて、平成十八年度の行政も四月一日よりスタートいたしました。慎重な議論がなされ、自主自立に向けていろいろな改革が進められています。

議会だよりも、町民の皆様にその変化をより一層分かりやすく、目を通していただけるよう、記事はもとより紙面にも工夫し、親しまれる本誌を目指して頑張ってまいります。

今年度も、次のスタッフで編集を進めてまいります。ご意見をお寄せください。

委員長　宮坂二郎
副委員長　多田雄一
委員　久留島元生
　　岡田良訓
　　西田祐三
　　渡辺善隆